

今月の表紙

7月23日(金)に新穂トキっ子保育園主催の夕涼み会が行われました。園児は「アンパンマン音頭」「まんまる音頭 ワッ!」「夢いっぱい音頭」を披露し、綺麗な浴衣や甚兵衛に身を包んだわが子の記録を残そうとカメラマンになりましたお父さん、お母さんがいっぱいでした。また、「父母の会」の協力により花火大会等も行われ、親子、親と親の親睦はより一層深まり、楽しい夕涼み会になりました。



全国高等学校総合文化祭全国大会出場 羽茂高校赤泊分校郷土芸能クラブ

8月1日に徳島市で開催された“文化の甲子園”全国高等学校総合文化祭全国大会(郷土芸能部門)に羽茂高校赤泊分校が出場しました。今回で全国大会連続11回出場となった赤泊分校生徒55名は日頃の練習成果を発揮し新潟県代表として見事な演技を発表しました。



コミュニティ助成事業で整備しました!!

コミュニティ助成事業とは、(財)自治総合センターが、自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とし、宝くじの普及広報を行うとともに、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に様々なコミュニティ活動に助成を行うものです。

この度、米郷伝統芸能保存友好会(相川地区)では、獅子頭、獅子覆い、胴長太鼓を整備しました。

獅子頭などが新調された事により、集落の祭は一層賑やかなものになり、活性化が図られるとともに、コミュニティ活動の一層の推進が期待されます。

米郷地区では、毎年6月16日に「米郷大神宮祭礼」が行われ、友好会員が団結し早朝から太鼓や、獅子舞、豆まきの伝統芸を米郷集落の家1軒1軒を回り、家内安全、無病息災、商売繁盛を祈願し披露しています。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。



編集後記

「かつこいいなあー...何でもそうだろう。ものことはすべてあこがれから始まる。」

佐渡市誕生記念式典前夜祭の第12音楽隊のコンサート。噂には聞いていたが、やはり上手い。さすがだ。演奏を聴いている私たちがもちろんだが、何よりも一番コンサートを楽しんでいるのは演奏者自身にほかならない。カメラのフリンダーに写る彼等の顔はとも活き活きしていた。みんなで音を奏でるといふ一体感、安心感の中で自分の存在が確かめられているのだろう。

かつこいい、いつかこうなりたいと思う気持ちが人を動かす。そんな純粋な気持ちを取り戻そうと気合いを入れてはみたものの、なぜか最近、空振りばかり。しかし嘆いてはられない。刻々と締め切り日は近づいて来るのだ。

連日30度を越える暑い日が続いています。と、冷房に当たりますと汗をかきにくくなり、汗が出ないと熱を発散できなくて、熱中症が心配されます。冷房もホドホドに、こまめに水分を取って体調を整え、この時期をのりきりたいところです。



①